



Sam Amir Toossi

Partner, New York

atoossi@akrivislaw.com

Sam Amir Toossi は、Akrivis Law Group のニューヨークオフィスのパートナーであり、同社のホワイトカラー犯罪弁護および商事訴訟実務の責任者です。Toossi 氏は、商業訴訟担当者、州および連邦の検察官、および大手企業の社内弁護士として 20 年近くの訴訟経験があります。経験豊富な裁判実務家である Toossi 氏は、州および連邦レベルで 26 件の評決に至った事件を担当し、数十件の裁判前手続を担当し、州および連邦の控訴裁判所で 10 件の訴訟を担当しました。彼はまた、司法省、証券取引委員会、商品先物取引委員会、金融業界規制当局、公開会社会計監視委員会など、さまざまなアメリカの規制当局の前でクライアントを代理してきました。

Toossi 氏は、7 年間、ニューヨーク東部地区の連邦検察庁（EDNY）で米国連邦検察官（AUSA）を務め、同庁の国際麻薬およびマネーロンダリング部門の副責任者を務めました。2015 年に、彼は司法省の従業員の業績に対する最高の賞である卓越したサービスに関する司法長官賞を受賞しました。2014 年に、彼はニューヨーク地域で最も権威のある法執行に関する賞の 1 つである連邦法執行財団連邦検察官賞を受賞しました。

AUSA に就任する前、Toossi 氏は、Sullivan & Cromwell LLP で重要な証券、商業、特許、および雇用訴訟の問題に取り組みました。EDNY を退職した後、彼はプライスウォーターハウスクーパース（PwC）の訴訟グループのディレクターを務め、証券訴訟、データ侵害とプライバシーの問題、雇用、商事紛争、パートナーシップの問題、仲裁と調停など、民事と規制の両方の問題を監督しました。

キャリアの早い段階で、トゥーシ氏はニューヨーク東部地区連邦地方裁判所の名誉あるスターリング・ジョンソン・ジュニアの調査官を務め、ニューヨーク市の地方検事補を務めました。

ホワイトカラー犯罪弁護の実務分野では、Toossi 氏は、経済制裁・輸出管理、マネーロンダリング防止（AML）、贈収賄、および腐敗に重点を置いて個人・法人のクライアントの国内外の内部調査やホワイトカラー犯罪の弁護を担当しています。Toossi 氏は、AUSA として国境を越えた事件を担当した経験を利用して、複雑な国境を越えた調査についてもクライアントに助言しています。

Toossi 氏の広範な民事訴訟の経験には、州および連邦裁判所での裁判、仲裁および調停が含まれます。これには、証券訴訟、専門家賠償責任、特許および商標の侵害、商事紛争、パートナーシップ紛争におけるクライアントの代理が含まれます。

Toossi 氏は現在、Seton Hall University Law School の客員教授であり、紛争解決手続という、調停と国際および国内の仲裁に焦点を当てた講座を教えています。